

2015 年 12 月 22 日

HCI プログラミングレポート課題

HCI プログラミングで学んだことをもとにして GUI アプリケーションを作成しましょう。

■アプリについて

アプリケーションのジャンルは問いませんが、役に立ちそうなものが良いですね。

■報告書について

報告書は 4 項目からなり、A4 一枚にまとめます。4 項目は「アプリの名称」と「アプリの概要」、「アプリのデモ」、「考察」です。各項目の内容は次のとおりです。

- アプリの名称 アプリの機能を明確に表す名前を付けましょう
- アプリの概要 どのような機能をもつのかを数行で記述しましょう
- アプリのデモ 動作画面のスクリーンショットを貼りながら操作方法を解説しましょう。
- 考 察 工夫した点や難しかった点、改善点、今後の展開を記述しましょう。

※講義用ページに Word のテンプレートを準備していますのでこれを用いて作成しましょう。

■レポート課題の評価〔100 点〕 = アプリ〔80 点〕 + 報告書〔20 点〕

★アプリの採点〔80 点〕基準：

以下の項目が有効にアプリに実装されている場合に加点し評価とします。

- +10 点 イメージ（画像、ラベルやボタンのアイコンなど）の表示を行っているか？
- +10 点 ラベル（文字列の表示）を用いているか？
- +10 点 ウィンドウやマウス、各種 GUI 部品など何らかのイベント処理が入っているか？
- +10 点 ボタン、チェックボックス、ラジオボタンの少なくともいずれかが使われているか？
- +10 点 メニューが使われているか？
- +10 点 ポップアップメニューが使われているか？
- +10 点 テキストフィールドが使われているか？
- +10 点 グラフィックスが使われているか？

※加点は対応する GUI 部品が有効に使用されていることが必須です。テキストフィールドを貼りつけたのみでこのフィールドのデータを他の処理に使用しない場合は、テキストフィールドの加点は行いません

※コンパイルエラーや画像ファイルなどの不足により実行が確認できない場合は 0 点とします

★報告書の採点〔20 点〕基準：

各 4 項目をそれぞれ 5 点とします。十分に記載されている場合（5 点）から不十分な場合（0 点）として評価を行います。

※アプリの実行が確認できない場合は報告書の内容を再現／確認できないため採点は行いません

■提出先と提出期限

提出先 WingNet 上の提出箱「HCI★レポート課題」へ ※期限 1 週間前に設置します

- アプリファイル一式（.lzh または .zip）
※ソールファイルの他、画像ファイルなど動作に必要なファイルを圧縮して 1 つのファイル（.lzh または .zip）にまとめてアップしてください。
- 報告書ファイル（.pdf）
※Word の〔名前を付けて保存〕から pdf 形式を選択してください。

提出期限 2016 年 1 月 20 日（水）13:00